



TITLE:

表紙・編集後記・目次・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・編集後記・目次・裏表紙ほか. 物性研究 2007, 88(3): 469-469

ISSUE DATE:

2007-06-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/110827>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成19年6月20日発行(毎月1回20日発行)
物 性 研 究 第88巻 第3号

ISSN 0525-2997

vol.88 no.3

物性研究

2007 / 6

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 「物性研究」に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。但し、著者が著作物を使用することをさまたげるものではありません。
4. 本誌の論文を欧文の論文中で引用する時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) **76** (2001), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率86%)
 - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

編集後記

今年の10月に予定している What is Life ? に関する国際会議の打ち合わせのため、久しぶりに渡米した。U. C. Santa Cruz と U. C. Davis を主にまわり、招待講演者との研究打ち合わせ、および NSF からの国際会議助成申請などを行ってきた。NSF からは、\$10,000 ~ \$20,000 の助成が確定した。

一番、驚いたのは、10 数年前に客員助教授として在籍していた頃に比べて、大学の規模が2倍ほどに大きくなり、学生数も大幅に上昇していたことである。U. C. Davis の数学科も、全米トップ6に入るなど、教育水準、研究水準が飛躍的に伸びている。その原動力が、人口増を背景とした学生増、税収増であることは、いうまでもない。

少子高齢化に悩み続ける我が国において、危惧されている定員割れなどという大学事情を思うにつけ、これから10年後の日米大学間比較の将来像に、ますます不安がつのるばかりである。

『物性研究』は、こうした世情にとらわれず、学問を醸成するようなオアシス的存在でありつづけたい。今年は、例年にも増して、大変多くの修士論文投稿があった。順次掲載を予定しており、ご期待していただければ幸いである。

(M. M.)

[物性研究]

編集長

村瀬 雅俊 (京大・基研)

編集委員

北村 光 (京大・理・物理)
古賀 昌久 (京大・理・物理)
武末 真二 (京大・理・物理)
田中 耕一郎 (京大・理・物理)
中尾 裕也 (京大・理・物理)
松本 剛 (京大・理・物理)
陰山 洋 (京大・理・化学)
遠山 貴己 (京大・基研)
戸塚 圭介 (京大・基研)
早川 尚男 (京大・基研)
森成 隆夫 (京大・基研)

各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)
泉田 渉 (東北大・理・物理)
柳瀬 陽一 (東大・理・物理)
波多野 恭弘 (東大・地震研)
笹本 智弘 (千葉大・理・数学・情報数理)
樋口 雅彦 (信州大・理・物理)
小西 哲郎 (名大・理・物理)
湯川 諭 (阪大・理・宇宙地球)
水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)
水島 健 (岡大・理・物理)
柴田 達夫 (広大・理・数理分子生命)
吉森 明 (九大・理・物理)
関本 謙 (Paris 第7大学・物理)
大木谷 耕司 (Sheffield 大学・応用数学)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第 88 卷第 3 号 (平成 19 年 6 月号) 2007 年 6 月 20 日 発行

発行人 村 瀬 雅 俊

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

印刷所 ショウワドウ・イープレス
株式会社 田村 徹

〒606-8225 京都市左京区百万遍交差点上ル東側

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

年額 19,200円

[物性研究]

編集長

村瀬 雅俊 (京大・基研)

編集委員

北村 光 (京大・理・物理)
古賀 昌久 (京大・理・物理)
武末 真二 (京大・理・物理)
田中 耕一郎 (京大・理・物理)
中尾 裕也 (京大・理・物理)
松本 剛 (京大・理・物理)
陰山 洋 (京大・理・化学)
遠山 貴己 (京大・基研)
戸塚 圭介 (京大・基研)
早川 尚男 (京大・基研)
森成 隆夫 (京大・基研)

各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)
泉田 渉 (東北大・理・物理)
柳瀬 陽一 (東大・理・物理)
波多野 恭弘 (東大・地震研)
笹本 智弘 (千葉大・理・数学・情報数理)
樋口 雅彦 (信州大・理・物理)
小西 哲郎 (名大・理・物理)
湯川 諭 (阪大・理・宇宙地球)
水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)
水島 健 (岡大・理・物理)
柴田 達夫 (広大・理・数理分子生命)
吉森 明 (九大・理・物理)
関本 謙 (Paris 第7大学・物理)
大木谷 耕司 (Sheffield 大学・応用数学)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第 88 卷第 3 号 (平成 19 年 6 月号) 2007 年 6 月 20 日 発行

発行人 村 瀬 雅 俊

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

印刷所 ショウワドウ・イープレス
株式会社 田村 徹

〒606-8225 京都市左京区百万遍交差点上ル東側

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

年額 19,200円

Quantum Mechanics and Chaos

Proceedings of the International Conference

中村勝弘、原山卓久、高塚和夫 編集

この巻は、2006年9月19日から21日に大阪市立大学において開催された日本学術振興会主催国際会議「Quantum Mechanics and Chaos (QMC 2006)」の招待講演をもとに編集した論文集である。

20世紀に誕生した量子力学は、現代の科学技術を支える普遍理論である。この理論は、超伝導、量子ホール効果、ボーズ・アインシュタイン凝縮などの現象を予言し説明するだけでなく、量子コンピュータや量子情報の将来像にも影響を与えている。一方、20世紀に開花したもう1つの大きな学問であるカオスは、量子論や統計力学の基礎を揺り動かしている。すでに、研究の前線では、カオスの量子論的兆候の研究が著しく進んでいるが、量子のスケールのカオス理論「量子カオス」の構築はいまだなされてはいない。このような状況の下で、「量子カオス」は基礎物理学の根幹をなすテーマと言えよう。

この巻で扱われるトピックスは、(1) 量子カオス、(2) マイクロキャビティ・レーザーやボーズ・アインシュタイン凝縮体の波動カオス、(3) 半古典理論、(4) メゾスコピック系における量子輸送とカオス散乱、(5) 分子科学、(6) 量子トンネリング、(7) 量子情報と量子カオスの数理科学的基礎付けなどである。この巻は、この分野における最新の理論的・実験的な発展をサーベイしており、この分野の専門家のみならず、この主題に興味を持つ非専門家や学生にとっても価値あるものである。

頒布価格 個人払 ¥3,045 (個人払の方はご希望の号を明記の上、郵便振替でご注)
 機関払 ¥4,620 (文下さい。機関払の場合は下記までお申込み下さい。)

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内

理論物理学刊行会

郵便振替口座
01050-6-3977

電話 (075) 722-3540, 753-7051

FAX (075) 722-6339

E-mail ptp@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~ptpwww>

Prog. Theor. Phys. Supplements

- 2005 No.157 Statistical Physics of Disordered Systems and Its Applications, *Proceedings of the International Conference*
Ed. by K. Hukushima, K. Tanaka and H. Nishimori
- No.158 Origins: From Early Universe to Extrasolar Planets, *Proceedings of the 19th Nishinomiya-Yukawa Memorial Symposium*... Ed. by S. Mineshige and S. Ida
- No.159 Field-Induced Phase Transitions and Dynamics in Quantum Spin Systems, *Proceedings of the International Symposium on Quantum Spin Systems (QSS04)* Ed. by K. Kindo, Y. Ueda, H. Ohta and H. Tanaka
- No.160 Physics of Strongly Correlated Electron Systems, *Proceedings of the Yukawa International Seminar 2004 (YKIS2004)*
Ed. by M. Imada, N. Kawakami, H. Shiba and H. Tsunetsugu
- 2006 No.161 Oscillation, Chaos and Network Dynamics in Nonlinear Science, *Proceedings of the International Symposium on Nonlinear Oscillations*.....
 Ed. by S. Shinomoto, H. Nakao, T. Ohta and Y. Kuramoto
- No.162 Complexity and Nonextensivity: New Trends in Statistical Mechanics, *Proceedings of the International Workshop*.....
 Ed. by S. Abe, M. Sakagami and N. Suzuki
- No.163 The Next Chapter in Einstein's Legacy, *Proceedings of the Yukawa International Seminar 2005 (YKIS2005)* Ed. by M. Sasaki, J. Soda and T. Tanaka
- No.164 Frontiers of Quantum Physics, *Proceedings of the International Workshop on Quantum Physics*.....
Ed. by R. Kasahara, H. Kawai, Y. Nagatani and F. Sugino
- No.165 Physics of Non-Equilibrium Systems: Self-Organized Structures and Dynamics Far from Equilibrium, *Proceedings of the 20th Nishinomiya- Yukawa Memorial Symposium* Ed. by T. Ohta and M. Murase
- 2007 No.166 Quantum Mechanics and Chaos, *Proceedings of the International Conference*
 Ed. by K. Nakamura, T. Harayama and K. Takatsuka

頒 価	個 人 払	機 関 払
No. 157	¥ 5,775	¥ 7,350
Nos. 156, 158	¥ 3,045	¥ 4,620
Nos. 159, 160	¥ 6,720	¥ 8,295
No. 161	¥ 6,510	¥ 8,085
No. 162	¥ 3,885	¥ 5,460
No. 163	¥ 6,300	¥ 7,875
No. 164	¥ 3,465	¥ 5,040
No. 165	¥ 2,625	¥ 4,200
No. 166	¥ 4,620	¥ 7,400

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお振込み下さい。

年会費 9,600円

1st Volume (4月号～9月号)

2nd Volume (10月号～3月号)

振替用紙は毎年2月号にとじ込んであります。振替用紙が必要な場合は、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、すぐにご連絡下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく1年以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円**です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類（請求、見積、納品書）が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に下記までご連絡下さい。

物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究 88-3 (6月号) 目 次

○特 集

「塑性という名の動的機構」 315

○講義ノート

「ホール伝導度と位相不変量」 御領 潤 413

○研究会報告

「動的システムの情報論 6」 439

○編集後記 469

物 性 研 究 88-3 (6月号) 目 次

○特 集

「塑性という名の動的機構」 315

○講義ノート

「ホール伝導度と位相不変量」 御領 潤 413

○研究会報告

「動的システムの情報論 6」 439

○編集後記 469